

## 「視角ミステリーえほん」

川崎市立片平小学校三年

碓井 董うすい すみれ

どう見てもへこんでいるのに、本をひっくり返すとふくらんで見えたり、ふしぎのれんぞくで、頭がこんがらがっちゃう！全部で十四まいの写真は、どれも光とかげ、角度を調整してとらえたものです。何度ページをめくっても、まただまされてしまいます。思わず、どうして!?!と声が出るミステリーの世界に私は、む中になりました。

とくに私が一番おどろいたのは、二十七ページの色紙のかいだんです。色紙を平らにしているだけなのに、ほんもののかいだんにか見えません。上れそうなかいだんに見えるのは、さっかくとよばれるげんしようで、目と頭のおうでおきていることを知りました。目とうが協力しておこるさっかくが、ますますおもしろいなと思いました。

この本を読んで思い出したことがあります。それは、国語で習った文章で出てきた「かげおくり」です。実さいにやってみたら、本当に空にかげがうかんでびっくりしました。これも、さっかくなのかなとき問に思いました。

この本がおもしろくて家族に話すと、お父さんが羽田空港国さい線ターミナルえきにうかび上がるあん内表示がゆかにあるよと教えてくれました。インターネットで調べてみると、本当に立体に見えて、たしかめに行ってみたくまりました。さっかくは、身近なもので生活にも工夫できて、だまされてもよいなんて楽しい世界だと感じました。